

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	今後の対応等について
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	96%	4%	0%	0%	部屋、庭、廊下、どれも広くてのびのびと活動ができています	敷地内の一部に階段等がありますが、スロープが設置されていたり、基本的には館内の全て車椅子で移動ができるような構造となっています。今後もできる限り、過ごしやすい環境設定に努めていきたいと思っています。 専門職について、当センターで提供している支援の内容からPT.STの増員の予定はありませんが、必要に応じて専門の医療機関等のご紹介をさせていただいておりますので、ご了承ください。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	89%	7%	0%	4%	・少ないと感じるときがある ・PTやSTの専門職の方もいると助かると感じます	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	93%	7%	0%	0%	玄関に段差があり、バリアフリーなのか	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%	0%	0%	0%	どの部屋も清潔さが保たれていて、利用しやすいです	
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	96%	0%	0%	4%	子どもの様子をとても丁寧にとらえて、困りや特性に沿った支援計画書になっているので育児にも生かすことができ、とても助かっています。	保護者の皆様のご協力をいただき、保育所等訪問支援を通じて地域の様々な保育所や幼稚園、こども園との連携や協働機会が増えています。交流機会については、個々に求める交流ニーズが異なってくるため、それぞれの成長や事情に合わせた交流機会を設けていきます。 活動プログラムについては、毎日の終礼で話し合いを行い、少しずつ変化をつけながら取り組んだり、季節の制作活動を行ったりしています。成長と共に、なかよしひろばの活動内容では物足りなくなることがありますが、そのタイミングが地域への移行のタイミングである場合もあります。お子さんの様子で気になることがあれば、いつでも相談をしてください。お子さんの次の成長に繋がる機会になるよう、情報を共有しながら支援を行なっていきたいと思っています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	93%	0%	0%	7%		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	96%	0%	0%	4%		
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	89%	4%	0%	7%	・親子で参加できる活動も多く、楽しめています。 ・少し飽きることもあるようです。	
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、子どもと活動する機会があるか	86%	10%	0%	4%	・いつも園と話し合いや見に行ってくれ園での様子もわかりやすく助かっています。 ・交流はあまりないと思います。	
保護者への説明	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	96%	4%	0%	0%		連絡ノートについては、今年度より定期的に連絡ノートを作成し、配布して成長の様子をお伝えさせてもらうようになっています。保護者の方からの返信欄もありますので、お子さんの様子やお困りの点などを記載していただければと思います。また連絡ノートに限らず、相談したいことがある時は、ご連絡をいただければ対応をさせていただきますので、ご理解とご協力の程宜しくお願い致します。 行事の日程については、1ヶ月前からご案内を配布させてもらっています。ホームページを活用した行事の案内が実施できていなかったため、今年度より予定日をホームページに掲載していきます。しかし、予定日が変更となることもありますので、必ず書面で配布する案内にも目を通していただくようお願い申し上げます。 個人情報の取り扱いについては、配布書類がある場合には二重チェックを行い、個人情報漏洩の防止に取り組んでいます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%	0%	0%	0%		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	89%	0%	0%	11%	・先生から子どもへの対応で良かった話を聞いて、問題行動に対して理解しても、中々実施できていません ・子ども適切な関わり方を学べたので、安心して育児に取り組むことができました。	
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	89%	0%	0%	11%	利用している時の様子が日頃分からない。連絡ノート等があれば私たちの伝えたいことも伝えられていいのかなと思う。	
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	93%	0%	0%	7%	定期的な面談があったおかげで自分でも振り返ることができ、子どもが成長していることを実感できました。	
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	86%	4%	0%	10%			

等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	93%	0%	0%	7%	困りが生じた時、いつもすぐに相談によって下さったので、とても助かりました。相談ができる場所があるのはとても心強いです。ありがとうございました。	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	89%	0%	0%	11%		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	89%	4%	0%	7%	出来るだけ行事に参加出来たらなあと思うので、早めに日程が分かると助かります。	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	86%	0%	4%	10%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	82%	11%	0%	7%	<ul style="list-style-type: none"> 避難経路の掲示があったか思い出せない。あっても、もう少しわかりやすく。 感染対策も、マスク、手や指消毒等不十分 	避難訓練については、参加機会が確保できていなかった児童もいたもので、実施時間や曜日を調整し、多くの児童が参加できるよう変更していきます。避難経路図については、掲載をしていますが、今後みなさんにわかりやすいよう拡大し目につきやすくなるよう工夫を行なっていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	75%	11%	0%	14%	<ul style="list-style-type: none"> やっているのか不明 消防車が来るのを楽しみにしています だんごむしのポーズ？を家でもしていました 	感染対策については、消毒液やマスクを玄関付近に設置していましたが、目に届きにくい場所にありましたので、玄関に入っすぐの目の届く場所に変更をしています。感染症対策については、再度、手や指の消毒や換気、館内の消毒など徹底して行なっていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	96%	4%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 園がいいと言うことも増えた 園を嫌がる日も「なかよしあるよ？」と元氣に行ってくれとても楽しみにしています。 「明日なかよし」「今日なかよし」と話しても楽しみにしています。 なかよしの活動を一番楽しみにしているようです。 	こどもたちが笑顔で安心して過ごせる場として今後も皆様のご期待に沿えるよう支援を行っていきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%		

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。